

(社) 日本原子力学会  
第69回倫理委員会議事要旨

日 時 平成 25 年 3 月 21 日 (木) 13:30~17:00  
場 所 三菱重工業 (株) 品川ビル 303 会議室  
出席者 大場委員長、宮越副委員長、作田幹事、北村委員、柴田委員、辻委員、  
林委員、三好委員  
山本理事 (9 名 : 委員名簿順)

配布資料

- 資料69-1 第68回倫理委員会議事要旨 (案)
- 資料69-2 技術倫理講演会報告書
- 資料69-3 倫理委員会ホームページについて
- 資料69-4 なし
- 資料69-5 なし
- 資料69-6 技術倫理協議会報告と対応

議事

1. 資料 69-1 により、前回議事要旨 (案) を確認し、了承された。
2. 資料 69-2 により、東北電力殿技術倫理講演会 (講師 : 大場委員長、北村委員) の結果について作田幹事から報告があった。講師への謝金に関する規程を作っておくほうがよいとの意見が出され、作田幹事が規程案を作成することとした。
3. 資料 69-3 により、倫理委員会ホームページについて作田幹事から説明があった。平成 25 年 4 月 1 日からは原子力学会のサーバーを利用することとした。まだ、ファイルのアイコンが表示されないという問題が残っており、作田幹事が対応することとした。現行サーバーへのアクセス者に対しては、原子力学会のホームページにリンクを張っていることから、新ホームページアドレスの周知はしないこととした。
4. 「2013 年秋の大会」倫理委員会セッションについて、宮越副委員長から説明があった。本大会は八戸で開催されることから、東北地方で発言できる人 (原子力が専門でなくてもよい) を各委員がそれぞれあたり、宮越副委員長に連絡することとした。原子力学会事務局への企画提案書の提出期日は、4 月 12 日。
5. 二重投稿問題に関する編集委員会から問い合わせについて、大場委員長から説明があった。種々議論の上、以下のことを編集委員会に回答することとした。①編集委員会の対応は適切である、②無記名による申告は、その対応を学会理事会の判断にゆだねる。また、記名による申告は、調査の上その対応を学会理事会の判断にゆだねる。③学会は法的見解を求めため弁護士に相談することが望ましい。
6. 資料 69-6 により、技術倫理協議会報告とその対応について宮越副委員長から説明があった。協議会委員は、宮越副委員長と平野委員の 2 名とする。代理またはオブザーバーは、柴田委員、山本理事とするが、他の委員も協力することとした。日本工学教育協会

オーガナイズドセッション（8月31日、新潟大学で開催）へは、セッションの趣旨に沿った活動をしていないことから参加しないこととした。

7. その他の議題として、学会事故調査委員会がまとめた学会関係者へのアンケート調査結果（中間報告）について紹介があった。
8. 次回倫理委員会は、5月8日（水）13:30～（学会事務局）とする。今後、委員の出席者数を増やすために、原則として隔月（奇数月）の第二水曜日とすることとし、問題がないかどうか、後日、大場委員長がメールで確認することとした。

以上